

常総学院同窓会々報

発行 / 常総学院高等学校同窓会 編集 / 同窓会会報編集委員会
委員長 / 飯田晃久 印刷 / (有)大鵬社



地域社会で信頼される学校として



学校法人常総学院 副理事長

青山 和義

同窓会員の皆様には、ますますご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご支援とご協力を頂き深く感謝申し上げます。関東・東北豪雨で被害を受けられた方々には、心からお見舞い申し上げます。

今年度から木内幸男副理事長の後任として職務を引き継ぐことになりました。微力ながら理事長を助け学校発展に努めてまいりますので、よろしくお願ひ致します。

本校の教育目標は社会に貢献できるリーダーの育成ですが、近年、社会で活躍する卒業生が目立つようになり、在校生の励みになっていきます。現在我が国は、国際化、情報化、格差の拡大、少子高齢化が進展していますが、在校生には、現実社会の厳しさを認識、自覚させ、目標を持って積極的に学習に取り組むよう指導してまいります。また、社会人として必要なコ

ミュニケーション能力の強化など人間教育にも力を入れていきます。地味なことですが、保護者と協力して皆勤を奨励しています。自主性を育てる面では、学校行事、部活動などでできるだけ生徒主体になるよう行っています。

これら教育活動の結果、大学進学では国立大学合格者の大幅増加、部活動では硬式野球部の各種大会での活躍と来春開催される選抜高校野球大会出場がほぼ確実、今春の卒業生の約九割が皆勤など、成果が得られました。

学校にとって最も重要なことは、地域社会の信頼を得ることです。今年度の高校入試において、本校には県内で最も多くの受験生が応募しました。これからも現状に満足せず、常に学校の活性化に努め、地域社会の信頼を得ていきたいと考えています。

同窓会員の皆様には、一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

活躍する

卒業生



第二十一期生 嶋田 敏

常総学院中学校第五期、高等学校第二十一期の嶋田敏です。現在は京都大学にて助教を務めています。同窓会報に寄稿する機会をいただきましたので、自分に関わる研究などについて紹介させていただきます。会報を読まれる皆様は、大学に通っている学生から、自分の子供がその年齢にあたる親まで多様な立場の方がいらつしやるかと思いますが、何かの足しになれば幸いです。

私の専門は「サービスイ工学」という領域で、いわゆる分野横断的な内容が研究対象となっております。工学としてイメージの強い機械やシステムなど「モノ」ではなく、それを造る人・使う人など「ヒト」の重要性が増すことで注目を集めるようになった領域です。サービスも製品も含めて、ヒトが関わる場でどのような価値が生じるのか、それをどのように実現すればいいのか、ということが主な関心となります。ヒトが関わってくることで工学的な知識・技術だけでなく心理学的な知見も必要となりますし、ビジネスとしての側面も無視できないため経済・経営の問題にもなります。私自身、取得した学位が工学博士なのに対して、現在の所属は経済学部／経営管理大学院となっております。

この分野横断的な研究にいてることで、非常に多様な研究者や企業の方々と知り合うことができています。大学教員の理系・文系はもちろん、企業との共同研究などでは、現場で顧客に直接対応している従業員・研究開発を行っている研究者・企業の方針を定める経営者などと、それぞれが関心を持つ問題について議論することになります。一つの物事があつた時にみんながそれぞれの立場から全く違うように捉えていて、企業としてはそれが問題を生み出していること

も少なくありません。そんな状況から本質的な問題を見つけ出すことが難しく、それ以上におもしろくてやりがいがあります。

私の拙文でどこまでお伝えできたか自信がありませんが、多様な人が問題と研究そのものに複雑に関わることがこの領域における難しさであり魅力です。この領域の良さと重要性が分かりやすいものとなり、より社会へと貢献できるような発展を遂げるようこれからも励んでいきたいと思っています。



第二十三期生 木村 竜太郎

この度は、常総学院同窓会会報に寄稿する機会を頂き、ありがとうございます。皆さまの中には、今年(平成二十七年)九月に鬼怒川の氾濫で発生した、洪水の被害に遭われた方もいらつしやるかもしれませんが、私は現在、札幌に住んでおりますが、故郷の変わり果てた姿や、避難生活を余儀なくされた方々をニュースで拝見し、胸が痛む思いをしました。被害に遭

われた方々に謹んでお見舞い申し上げます。

私は昨年度の三月に北海道大学生命科学院の修士課程を修了し、春からようやく社会人になりました。大学院では、Y染色体を持たない「トゲネズミ」という珍しいげっ歯類における、雌雄の性が決まる仕組みとその進化についての研究を行いました。基礎生物学的な研究に後ろ髪をひかれる思いはありましたが、科学技術で社会に貢献したいと考え、現在は札幌にある創薬ベンチャー企業で次世代医薬品の開発に携わっております。毎日、実験と勉強で慌ただしいながらも、大変充実した日々を送っています。

私が常総学院高校を卒業してから七年余りが経ちます。今振り返っても、充実した高校生活だったと感じます。遠方に住んでいるため、なかなか挨拶に伺えませんが、高校生活を通じてご指導いただき、時に(しばしば)喝を入れてくださった担任の先生、生物学や、現在の業務でも日常的に用いる英語を好きになるきっかけを作ってくださった各教科担当の先生方には今でも感謝しています。また、高校時代の級友は様々な方面で活躍していると聞いております。私も級友に負けないくらい、北の地で奮闘したいと思っております。皆さまも札幌にお越しの際には、ぜひお声をおかけください。



在校生だより 《高等学校》

特集「科学部」

昨年度、公益財団法人げんでんふれあい茨城財団が主催する「げんでん科学技術振興事業」の研究助成として、本校科学部の研究『Mg(マグネシウム)空気電池の高性能化』が初めて採択されました。また、助成を受けた県内各校の中で最も優れた研究に贈られる「げんでん科学技術振興大賞」も受賞し、昨年十二月に茨城県庁で研究成果の発表を行いました。

研究に参加したのは高校二年生(現三年生)六名です。研究テーマであるマグネシウム空気電池は近年注目されている電池で、本研究では電池の反応を安定させたまま出力を向上させるためにはどうすれば良いかを、実験と理論の両面から考察しました。

茨城県庁で行われた表彰式及び成果発表には、メンバーを代表して逆井拓実君と吉田幹太郎君の二名が出席しました。定期試験直後で準備時間がない中で発表でしたが、二人とも堂々とした態度で、とても丁寧でわかりやすい発表を行ってくれました。

尚、本年度もげんでんふれあい茨城財団の研究助成として、本校科学部の研究『雨滴の素敵な最適化』が採択されています。参加メンバーは高校二年生四名で、よりよい研究成果を発表できるように毎日試行錯誤を重ねています。

(理科教諭 松島 毅 記)



特集「JRC委員会」

本年、茨城県青少年赤十字連絡協議会の会長に福田祐貴君(二年十組)、副会長に渡邊芹奈さん(二年七組)が就任しました。彼等一人が中心となつて、今年度実施される茨城県JRC部の各種行事について、立案、計画、運営が行われています。毎年会長、副会長職を本校の生徒が受け継いでおり、茨城県JRC部の筆頭として活躍しています。

茨城県JRC部の活動として、県内高校生との交流会、県内大学生との交流会を通じて救急法や炊出しといった被災地支援の方法を学ぶと共に、隔年で国際交

流会も行っています。昨年は東ティモール赤十字メンバーとの交流会を実施しました。東ティモールでは、高校生が、麻薬の撲滅や紛争反対など、日本には無い深刻なテーマで活動をしていることを知り、衝撃を受けたそうです。副部長が東ティモールのメンバーをホームステイとして受け入れ、本校でも授業や給食を共にする、一日体験をさせて頂きました。

また、毎年八月には、茨城県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター(リーダーシップと赤十字精神等)についての学びを目標とした合宿に参加し、県内のJRC部メンバーとの交流を行っています。昨年はそこから県の代表として渡邊芹奈さんが International Meeting Mt. Fuji(世界二十二か国から集った赤十字メンバーと共に、世界が直面する問題やリーダーシップについてディスカッションを行う合宿)に選出され、全国大会として位置づけられるスタディ・センターに福田祐貴君が選出されるなど、本校部員は高い評価を受けています。

そして三月には宮城県の被災地に赴き、地元の方々にも喜んで頂けるよう、花壇の整美を行うボランティアも行うと共に、多くの方々への亡くなった場所において黙祷を捧げさせて頂きました。バスの中から見える、まだまだ復興とは程遠い現実に、部員たちは衝撃を受けたようです。

本校JRC部独自の活動としても、毎年四月に開催されるかすみがうらマラソンで、数千人に及ぶ選手の荷物預かり所運営に尽力しています。土浦市のスポーツ振興課からは、毎年過分なまでの感謝の言葉を頂戴しています。また、あしなが学生募金、東日本大震災募金など、各種募金活動をつけば駅周辺にて行い、毎年多額の協力を得ています。他にも献血呼びかけのキャンペーン、ペットボトルキャップの回収なども定期的に実施しています。

今後も「気付き・考え・実行する」の赤十字スローガンを胸に、社会貢献に向け、部員全員が一致団結して努力していきます。



国際交流会



募金活動



被災地ボランティア

野球部主将が 第27回WBSC U-18 ベースボールワールドカップ のメンバーに選抜されました!!

ワールドカップを終えて

3年3組 宇草 礼基

今回、U-18のメンバーに選んでいただいたことは、私にとって大きな経験になりました。

特に勉強になったことが二つあります。一つは、「自分を出す」ということです。二十人の即席チームはほとんど練習する間もなく大会に入っていました。二年半の間、毎日過ごしてきた常総の仲間達は、何も言わなくても分かりあえるところがありますが、集結してすぐに野球をやるとなると、今までとはまた違った難しさを感じました。しかし、一つのボールを通して互いに打ち解け合うことができ、とても良い雰囲気でした。それができたと思います。改めて野球は素晴らしいスポーツだと実感しました。

二つ目は、「準備の大切さ」です。チームメイト達は結果の良し悪しに関わらず、次の試合までの間に良い準備をしていました。一人ひとりが自分の考え、意思をしっかりと持っていました。ホテルでの生活ですが、寝る前に必ず入浴剤を入れて湯船につかり、ストレッチをし、翌朝も出発前にもう一度しっかりストレッチをしてから出発する人や、毎朝必ず散歩をする人、次の試合の対戦相手のビデオを見てから素振りをし、いいイメージを作ってから寝る人など、人それぞれですが、次の試合に向けて万全の状態での準備をしていました。大会中、自分自身も最高の選手に比べたら出番は少なかったです。選抜出場する選手以上に準備ができました。しかし結果は出せませんでした。その原因には焦りがあったと思います。打ちたいとばかり思っただけで、

い、打席の中でやらなければいけないことができません。周りの皆は切り換えが早く上手だったので、自分もそれを見習って、常に迷いが無い状態で思いきり良く試合に臨めるように取り組んでいきたいです。

この夏は甲子園に行くこともできず、選んでいただいた日本代表でも思うような結果が出せず、とても悔しい思いをしました。力の無さを改めて実感しました。自分はこの経験を必ず生かさなければならぬという使命感を強く感じています。この悔しさを忘れず、あの高校三年の夏があったから今があるといえるように、目標に向かって強い意志を持って選んでいきたいです。将来立派な大人になり、活躍する姿を見ることが恩返しだと思おうので、常総学院で学んだことと誇りを胸に、日々成長していきます。今の自分があるのも、たくさんの方の支えがあるからこそです。感謝の気持ちをお忘れず、頑張ります。たくさんの方の応援ありがとうございました。



秋季関東大会を終えて

野球部全員で優勝することを目標に望んだ大会でした。初戦は大会の優勝候補と言われていた横浜高校と対戦し、三ー一で勝つことが出来、勢いに乗ることが出来ました。決勝戦では木更津総合高校との対戦でしたが、投手が踏ん張りきれず、惜しくも十五年ぶりの神宮大会に出場することができませんでした。今年の冬の練習では全員がレベルアップし、全国の『頂点』に立ちます。応援よろしく願います。

常総学院 主将 鈴木 昭汰

第68回秋季関東地区高等学校 野球大会

1 回戦	横浜高校	3 - 1
(神奈川県 1位)		
2 回戦	日本航空高校	2 - 1
(山梨県 2位)		
準決勝	桐生第一高校	4 - 0
(群馬県 2位)		
決勝	木更津総合高校	7 - 8
(千葉県 1位)		

部活動 活動報告

ソフトボール部

今後の目標 2年3組 玉井 健太郎

私達男子ソフトボール部は、一年生十三人、二年生八人、マネージャー一年生三人、二年生三人の計二十七人で関東大会出場、また四つの全国大会に出場できるような日々練習に取り組んでいます。平日の練習では、自分たちの苦手な事を中心に苦手を克服できるようにメニューを考えて練習しています。休日では、全員が同じ時間から練習できるため、守備練習など実践的な練習を行っています。

練習で注意していることは、全員が大きい声を出すことです。練習で大きな声が出せなければ試合でも声は出なくなるし、試合中に連携プレーなどで多くミスが出てしまうからです。そのため、練習中は声が出切れないように気をつけています。

私達は、野球部やラグビー部サッカー部など他の部の練習場を借りて練習していることが多いので、常に感謝の気持ちを忘れず練習に励み目標に向かって頑張ります。

剣道部

仲間 2年4組 板橋 宏仁

六月六日、七日に千葉で関東大会が行われました。自分達が関東大会に行くまでにさまざまな事がありました。仲間とぶつかりあって



チームが崩れそうになる時もありました。しかし、自分達の仲間との絆はつらい事もはねかえす力がありました。関東大会に行けたのは男子、女子関係なく互いに目標が一つになったからこそ行くことができたと思います。関東大会では結果よりも、自分は全員が一つになって戦うことができた事がとても嬉しかったです。みんなが同じ目標に向かって一生懸命取り組む事はすごく大切だと思います。一人でも目標がずれてしまっているのは絶対に勝つことはできません。これからもどんな事があっても崩れることなく真つすぐ目標に向かって突き進んでいきたいです。

これからの自分達の目標はもちろん関東大会出場もありますが、今まで自分達の憧れであった先輩方がつちかってくれた伝統を守ってきた越す気持ちでやっていきたいです。



駅伝部

気持ちの重要性

3年8組 白川 恵理菜

私にとって三度目の関東大会。過去二回は3000mだけでしたが、今回は1500mと3000mの二種目に出場する事が出来ました。大きな大会になるにつれて、会場の雰囲気も変わり、緊張感も高まります。プレッシャーの中でどれだけ自分の力を発揮できるか、常にベストの結果が要求されます。始めはプレッシャーをかけられる事が怖かったのですが、逆に「期待してくれているんだ」とプラス思考に考えるようになってからは記録も良くなり、良い成績を残せるようになりました。いかに、気持ちや考え方が結果に結びつかを知る事ができ、陸上に限らず、

これは人生において大切な経験になったと思います。

十月下旬には高校生活最後の駅伝大会があります。常に感謝の気持ちを忘れずに全国大会の舞台を目指し、頑張ります。今後とも、常総学院駅伝部の応援を宜しくお願いします。

水泳部

インターハイをおえて

3年2組 出澤 美和

私達水泳部は、八月十七日から二十日の四日間京都で開催された全国高校総体水泳競技大会に出場しました。日頃から応援して下さいの皆様のおかげで、今年で二十七年連続出場する事ができました。

インターハイ出場を決める関東大会では、インターハイへの切符を逃し、悔しい思いをした選手もいました。そんな中、男子は昨年のリベンジを果たしリレー三種目で切符を掴む事ができました。スタート台に立った時の仲間からの声援とあの緊張感は、私自身も奮い立たせました。

インターハイでは、選手一人一人がこの舞台で泳げる喜びと感謝の気持ちを忘れずに、全力でレースに挑みました。今年六位入賞という結果もでて、来年に向けて本当に繋がる大会になりました。

今後の新チームには、さらに強い常総学院水泳部を目指し努力してもらいたいと思います。これからも応援よろしくお願いします。



パワーリフティング部

世界大会を終えて

3年11組 工藤 みちる

今回、パワーリフティング部では、チェコ共和国のプラハで開催された世界大会に、三名の選手が出場しました。

大会は、階級別に六日間かけて行われました。私の階級は四日目だったので、その間は緊張のため、まともに眠ることができませんでした。他の選手の失敗を見る度に、自分と重ね合わせ、自分が失敗した姿が夢にまで出てきました。しかし、当日は多くの日本人の方々の応援のおかげで、落ち着いて楽しく競技をすることができました。

この大会で、世界のレベルの高さと自分の未熟さ、そして応援のありがたさを痛感しました。種目別で狙っていたベンチプレス、の三位入賞は果たせませんでした。総合で世界四位の成績を残すことができませんでした。海外の雰囲気にも飲まれることなく、自分のペースで競技できたことが最高の思い出です。

今後も、レベルアップをめざし、更に努力していきます。ありがとうございます。どうぞございました。



ラグビー部

3年2組 野口 隼

私達ラグビー部は、昨年に比べ体が小さく経験者の人数も少ないです。その中で私達は二年連続で関東大会へ出場する事が出来ました。関東大会では、県外のチームと試合を行うことで多くの事を学ぶ事が出来ました。

初日は、大きな会場と多くの観客でうまく気持ちが入らず空回りしてしまい、一人一人の良い所をプレーに出す事が出来ず、結果を出す事が出来ませんでした。そしてその悔しい気持ちの中で、なにか良くなかったのを改めて実感しました。それは気持ち一つでプレーに影響が出ることや、環境に慣れず空回りしてしまうこと、メンタルの弱さです。その日のうちに気持ちをリセットし、一人一人が強い気持ちで戦うことを決め、志気を高め合い、次の試合では良い試合をする事が出来ました。

関東大会に出場した事で、気持ちで負けなければ、どんなに強い相手でも結果は必ずついてくることを学びました。



バトミントン部 特集!!

関東大会に30年連続30回出場!!
インターハイに5年連続
28回出場!!

男子バトミントン部

僕の目指す所 2年3組 中島 健吾

京都で行われたインターハイでは、団体戦初戦敗退、個人戦・ダブルスでは、三年生の先輩がベスト16、私達は二回戦敗退。シングルスは、三回戦敗退という結果でした。夏の暑い体育館での試合は、体力や集中力を奪われ、私はいつも通りのプレーができず、悔いの残る試合となってしまいました。インターハイで高成績を収めようと思いつ、日々厳しい練習を頑張ってきましたが、本番で普段通りの力を発揮できなかったとい



う事は、まだまだ精神面、体力面においても鍛錬が足りなかったのだと思います。三年生の先輩方が引退され、二年生三名、一年生八名の新チーム。私はキャプテンを任され、チームをまとめる立場となりました。先輩方が残してくれた伝統を守りつつ、先輩方の成績を越えられるよう、また、一つ一つの試合に後悔しないために日々練習を積んでいきたいと思えます。

関東大会に6年連続27回出場!!
インターハイに2年連続
24回出場!!

女子バトミントン部

勝つ気持ちを持って

2年2組 酒井 虹穂

私達は、八月に京都で行われたインターハイに出場しました。

一回戦は鹿児島女子高校に三対〇のストレートで勝利しました。二回戦は、女子シングルス現世界チャンピオンのいる勝山高校と対戦。私達は、一致団結し勝山高校に互角の勝負を展開しました。二対二で迎えた最終シングルスでは、二回戦とは思えない異様な雰囲気になり、一本一本に歓声とどよめきが入り混じり、手に汗握る試合になりました。残念ながら最後の一本が取れず負けました。この大会の勝敗を分けたポイントには勝つための気持ちをどれだけ持って練習してきたのか、だと強く感じました。これから私達が勝つ為にも日頃の練習だけでなく、日常生活から勝つことを意識してやっていきます。

そして、支えてくれる方々への感謝の気持ちを忘れずにこれからも活動していきます。



女子バドミントン部顧問

インターハイに出場して 磯部 和弘

今年、京都府長岡京市にてインターハイが開催された。外気は連日35度を超え、体育館での練習は40度以上と体力的・精神的に非常に厳しい戦いが予想された。しかし、その予想とはうらはらにエアコンや外気で体育館内は涼しくなり今度は風との戦いになった。一回戦は鹿児島女子高に三〇で勝ち二回戦に進んだ。二回戦は現女子シングルス世界女王山口茜選手がいる勝山高校であった。ダブルス一勝一敗、シングルス一勝一敗、二対二でむかえた最後の戦い、優勝候補の勝山高校が負けるかもしれないと会場全体が異様な雰囲気包まれた。その緊張感にゲーム目はあっさり取られてしまったが、深呼吸を五回させたあと力の差はないことを言い聞かせた二ゲーム目は逆に取り返した。ファイナルゲームは一進一退のゲームを展開し、マッチポイントを握ったが最後の一本が取れなかった。生徒達は悔しそうに顔とやりにぎった顔の両方を見せてくれた。そのような生徒達を誇りに思う。

新人ハドミントン大会茨城県南地区予選会
 ダブルス 準優勝【小島 寧来】
 シングルス 優勝【小島 寧来】
 ダブルス ベスト16
 シングルス ベスト8【酒井 虹穂】
 ダブルス 優勝【森 咲和佳】
 シングルス ベスト16【岡田 千穂】
 ダブルス ベスト32
 シングルス 優勝【島倉 唯】
 ダブルス ベスト16【鈴木 優花】
 シングルス 1回戦
 ダブルス ベスト8【宮本 愛央】
 シングルス ベスト8
 ダブルス 優勝【濱野 夏葵】
 シングルス ベスト4
 新人ハドミントン大会
 団体 優勝【関東選抜大会出場】
 ダブルス 4位【小島 寧来】
 シングルス ベスト32
 ダブルス ベスト16【酒井 虹穂】
 シングルス 準優勝 ※関東選抜出場
 ダブルス 4位【森 咲和佳】
 シングルス 優勝 ※関東選抜出場
 ダブルス ベスト32【岡田 千穂】
 シングルス 3位【島倉 唯】
 ダブルス 3位
 シングルス ベスト32【鈴木 優花】
 ダブルス ベスト16【宮本 愛央】
 シングルス ベスト32
 ダブルス 3位【濱野 夏葵】
 シングルス ベスト16

剣道部
 関東高等学校剣道茨城予選会
 女子団体 5位 ※関東大会出場
 全国高等学校剣道競技茨城県予選会
 女子団体 3位
 個人の部 5位【佐藤 希】
 県南秋季学年別剣道大会
 1年女子 優勝【小斉 綾乃】
 2年女子 3位【仁平 麗愛】
 2年女子 優勝【中澤 亜美】

駅伝部
 第68回関東地区対抗高等学校陸上競技大会
 1500m 4位【紀ノ川 智一】
 1500m 9位【石川 拓哉】
 1500m 6位【小林 愛奈】
 1500m 優勝【白川 恵理菜】
 3000m 3位【落合 海斗】
 5000m 優勝【斉藤 泰雅】
 3000m 優勝【白川 恵理菜】

第68回茨城県高等学校陸上競技対抗選手権大会
 1500m 出場【紀ノ川 智一】
 1500m 出場【石川 拓哉】
 1500m 出場【小林 愛奈】
 1500m 3位【白川 恵理菜】
 5000m 出場【斉藤 泰雅】
 3000m 2位【白川 恵理菜】
 女子3000m 10位【白川 恵理菜】
 女子1500m 【白川 恵理菜】
 第70回茨城県陸上競技選手権大会
 少年B男子3000m 5位【紀ノ川 智一】
 女子5000m 優勝【白川 恵理菜】
 第44回茨城県高等学校陸上競技学年別選手権大会
 高校男子3000m 8位【斉藤 泰雅】
 高校女子5000m 優勝【白川 恵理菜】
 県南高等学校陸上競技新人大会
 1500m 2位【紀ノ川 智一】
 3000m 5位【平方 祐記】
 1500m 5位【大島 さらら】
 3000m 6位【大島 さらら】
 5000m 8位【石川 拓哉】
 1500m 3位【小林 愛奈】
 3000m 5位【小林 愛奈】
 3000m 7位【新妻 悠】
 8000m 6位【小椋 泰雅】
 5000m 4位【斉藤 泰雅】
 3000m 優勝【上井 里彩】
 1500m 2位【上井 里彩】
 3000m 6位【見野 一太郎】
 3000m 優勝【白川 恵理菜】
 茨城県高等学校駅伝競走大会
 男子8位入賞【新妻平方 落合 斉藤 青木 小椋 石川】
 女子3位入賞【白川 大島 成毛 上井 小林】

水泳部
 第38回茨城県高校春季水泳競技大会
 50m・100m平泳ぎ 1位【出澤 美和】
 200m平泳ぎ ※大会新記録 1位
 200m個人メドレー 4位【鈴木 健太】
 100m・200m自由形 6位
 50mバタフライ 5位【佐藤 大輝】
 200mバタフライ 1位【田所 諒馬】
 ※大会新記録
 50m平泳ぎ 2位
 200mバタフライ 7位【市村 悠紀】
 100m・200m平泳ぎ 7位【諸岡 茉音】
 200mバタフライ 2位【横谷 和折】
 50m背泳ぎ 6位

第51回茨城県民総体水泳競技大会
 男子・女子総合優勝
 100m平泳ぎ 1位【出澤 美和】
 ※大会新記録
 400m個人メドレー 1位
 ※大会新記録
 200m個人メドレー 3位【鈴木 健太】
 400m個人メドレー 6位
 50m自由形 8位【佐藤 大輝】
 200mバタフライ 1位【田所 諒馬】
 400m自由形 3位
 200mバタフライ 8位【市村 悠紀】
 200m個人メドレー 3位【諸岡 茉音】
 100m平泳ぎ 5位
 200mバタフライ 4位【横谷 和折】
 400m自由形 6位
 200m自由形 5位【古閑 萌人】

50mバタフライ 7位【古閑 萌人】
 200m個人メドレー 8位【又来 光】
 100m自由形 1位【大塚 俊貴】
 200m個人メドレー 1位
 50mバタフライ 1位
 50mバタフライ 1位【木村 優介】
 200m平泳ぎ 2位
 100m平泳ぎ 3位
 200m平泳ぎ 1位【佐藤 大空】
 200m平泳ぎ 1位
 ※大会新記録
 100m背泳ぎ 3位【上原 広暉】
 50m背泳ぎ 4位
 50m自由形 6位【野口 将吾】
 50m自由形 4位【平田 萌々恵】
 50mバタフライ 5位【飯岡 千尋】
 100mバタフライ 6位
 200m背泳ぎ 4位【桜田 遼】
 100m背泳ぎ 5位
 50m背泳ぎ 1位
 100m背泳ぎ 5位
 100m背泳ぎ 1位【荒井 晴風】
 500m自由形 1位
 400m自由形 3位【佐々木 柊】
 200m背泳ぎ 4位
 100m背泳ぎ 3位
 200m背泳ぎ 1位
 200m背泳ぎ 2位
 200m背泳ぎ 3位
 200m背泳ぎ 4位
 200m背泳ぎ 5位
 200m背泳ぎ 7位
 100m背泳ぎ 1位【椎名 桃子】
 200m背泳ぎ 2位
 100mバタフライ 5位【木村 圭汰】
 男子400mメドレーリレー 1位 ※大会新記録
 男子400mリレー 1位
 男子800mリレー 1位
 女子400mメドレーリレー 1位 ※大会新記録
 女子400mリレー 1位

第66回関東高校水泳競技大会県予選会
 競泳男子 総合1位
 競泳女子 総合1位
 飛込男子 総合2位
 100m平泳ぎ 5位【飯泉 里平】
 100m平泳ぎ 1位【出澤 美和】
 200m平泳ぎ 1位
 ※大会新記録
 200m個人メドレー 2位【鈴木 健太】
 400m個人メドレー 2位
 200mバタフライ 1位【田所 諒馬】
 200m個人メドレー 6位【諸岡 茉音】
 200mバタフライ 4位【横谷 和折】
 400m自由形 5位
 200m自由形 4位【古閑 萌人】
 200m個人メドレー 3位
 50m自由形 5位【又来 光】
 100mバタフライ 1位【大塚 俊貴】

50mバタフライ 7位【古閑 萌人】
 200m個人メドレー 8位【又来 光】
 100m自由形 1位【大塚 俊貴】
 200m個人メドレー 1位
 50mバタフライ 1位
 50mバタフライ 1位【木村 優介】
 200m平泳ぎ 2位
 100m平泳ぎ 3位
 200m平泳ぎ 1位【佐藤 大空】
 200m平泳ぎ 1位
 ※大会新記録
 100m背泳ぎ 3位【上原 広暉】
 50m背泳ぎ 4位
 50m自由形 6位【野口 将吾】
 50m自由形 4位【平田 萌々恵】
 50mバタフライ 5位【飯岡 千尋】
 100mバタフライ 6位
 200m背泳ぎ 4位【桜田 遼】
 100m背泳ぎ 5位
 50m背泳ぎ 1位
 100m背泳ぎ 5位
 100m背泳ぎ 1位【荒井 晴風】
 500m自由形 1位
 400m自由形 3位【佐々木 柊】
 200m背泳ぎ 4位
 100m背泳ぎ 3位
 200m背泳ぎ 1位
 200m背泳ぎ 2位
 200m背泳ぎ 3位
 200m背泳ぎ 4位
 200m背泳ぎ 5位
 200m背泳ぎ 7位
 100m背泳ぎ 1位【椎名 桃子】
 200m背泳ぎ 2位
 100mバタフライ 5位【木村 圭汰】
 男子400mメドレーリレー 1位 ※大会新記録
 男子400mリレー 1位
 男子800mリレー 1位
 女子400mメドレーリレー 1位 ※大会新記録
 女子400mリレー 1位

400m自由形 5位
 200m個人メドレー 7位【又来 光】
 1500m自由形 7位
 200mバタフライ 1位【大塚 俊貴】
 ※大会新記録
 200m自由形 2位【大塚 俊貴】
 100m自由形 1位【木村 優介】
 200m自由形 3位
 100m・200m平泳ぎ 1位【佐藤 大空】
 400m個人メドレー 3位【上原 広暉】
 50m・100m自由形 4位
 200mバタフライ 3位【平田 萌々恵】
 100mバタフライ 6位【飯岡 千尋】
 100m・200m背泳ぎ 2位【桜田 遼】
 200m背泳ぎ 2位【荒井 晴風】
 100m背泳ぎ 3位
 100m平泳ぎ 4位
 1500m自由形 2位【佐々木 柊】
 400m自由形 8位
 200m背泳ぎ 5位【兵頭 洋亮】
 100m背泳ぎ 7位
 200m背泳ぎ 1位【椎名 桃子】
 100m背泳ぎ 2位
 200mバタフライ 5位【木村 圭汰】
 男子400mメドレーリレー 1位 ※大会新記録
 男子400mリレー 1位
 男子800mリレー 1位
 女子400mメドレーリレー 1位 ※大会新記録
 女子400mリレー 1位

第66回関東高校水泳競技大会県予選会
 競泳男子 総合1位
 競泳女子 総合1位
 飛込男子 総合2位
 100m平泳ぎ 5位【飯泉 里平】
 100m平泳ぎ 1位【出澤 美和】
 200m平泳ぎ 1位
 ※大会新記録
 200m個人メドレー 2位【鈴木 健太】
 400m個人メドレー 2位
 200mバタフライ 1位【田所 諒馬】
 200m個人メドレー 6位【諸岡 茉音】
 200mバタフライ 4位【横谷 和折】
 400m自由形 5位
 200m自由形 4位【古閑 萌人】
 200m個人メドレー 3位
 50m自由形 5位【又来 光】
 100mバタフライ 1位【大塚 俊貴】

400m自由形 5位
 200m個人メドレー 7位【又来 光】
 1500m自由形 7位
 200mバタフライ 1位【大塚 俊貴】
 ※大会新記録
 200m自由形 2位【大塚 俊貴】
 100m自由形 1位【木村 優介】
 200m自由形 3位
 100m・200m平泳ぎ 1位【佐藤 大空】
 400m個人メドレー 3位【上原 広暉】
 50m・100m自由形 4位
 200mバタフライ 3位【平田 萌々恵】
 100mバタフライ 6位【飯岡 千尋】
 100m・200m背泳ぎ 2位【桜田 遼】
 200m背泳ぎ 2位【荒井 晴風】
 100m背泳ぎ 3位
 100m平泳ぎ 4位
 1500m自由形 2位【佐々木 柊】
 400m自由形 8位
 200m背泳ぎ 5位【兵頭 洋亮】
 100m背泳ぎ 7位
 200m背泳ぎ 1位【椎名 桃子】
 100m背泳ぎ 2位
 200mバタフライ 5位【木村 圭汰】
 男子400mメドレーリレー 1位 ※大会新記録
 男子400mリレー 1位
 男子800mリレー 1位
 女子400mメドレーリレー 1位 ※大会新記録
 女子400mリレー 1位

※大会新記録

Table of swimming results including 100m自由形, 200m自由形, 400m個人メドレー, etc. with names like 優介, 大空, 廣輝, etc.

Table of swimming results including 100m背泳ぎ, 400m個人メドレー, 50mバタフライ, etc. with names like 廣輝, 大空, 俊輔, etc.

Table of archery results including 3m飛板飛込・高飛込, 弓道部, パワーリフティング部, etc. with names like 俊輔, 杏奈, 裕士, etc.

ソフトボール部

関東高等学校ソフトボール大会茨城県予選会
準優勝(関東大会へ出場)
全国高等学校ソフトボール大会茨城県予選会
3位

女子バスケットボール部

関東高校バスケットボール大会
茨城県南A地区予選会
ベスト4入賞
全国高校総体茨城県南A地区予選会
ベスト4

ラグビー部

関東高等学校ラグビー茨城予選
3位(関東大会出場)

競技かるた部

第33回全国競技かるた東京吉野大会
出場
2回戦
全国高等学校小倉百人一首かるた選手権県予選会
ベスト8

全国高等学校総合文化祭小倉百人一首大会県予選会
出場
予選リーグ3位
予選リーグ1位
決勝リーグ9位タイ
第23回全国競技かるた多摩百人一首大会
準優勝
第22回関東地区小倉百人一首競技かるた
高校生大会茨城県予選会
5位(関東大会出場)

進路指導室より近況報告

進路指導室長 菅谷 博之

合格体験談集『桜咲く常総 in 2015』第12号を刊行

今年も7月1日に合格体験談集『桜咲く常総 in 2015』第12号を無事発行することができました。内容としては、生徒78名、卒業生保護者18名、教職員10名の原稿を掲載しました。お蔭様で在校生、保護者からの評判は上々です。精神的に辛い時期にとても参考になった等、読後の感想も多数寄せられております。また、生徒の中には、体験談を書けるように必死で大学受験に取り組んだ生徒もいたようです。編集する側でも様々な意見を糧に、次年度の構成を考えておりますので、お気付きの点がございましたら、ご一報いただければ幸いです。

四年制大学合格者掲示について（中央玄関前）

例年、高校校舎中央玄関前に年度末の3月31日までに把握できた四年制大学合格者を、掲示しております。卒業式後に判明した合否につきましては、『受験結果報告書』を送っていただき集約しております。特に年度末ぎりぎりまで繰り上げ合格等で合格が出た場合、速やかに進路指導室までご一報ください。個人情報上の性質上、念のため進路指導室より、電話で合否の確認が入る場合がありますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。

進路講演会の報告（高中学 弁護士 第16期卒）

毎月末の月曜日、各界でご活躍の方々をお呼びして中学・高校生の希望者を対象に進路講演会を実施し、約5年が経過しました。当初は医学部希望の生徒を対象に行っていましたが、昨年度より文系の生徒に対する講演も実施することになり、講演内容も幅広く一層充実して参りました。

直近の平成27年10月26日の進路講演会では、第16期卒業生で東京大学法学部から弁護士になられた高中学先生に、高校時代の思い出、受験勉強のアドバイス、司法試験の受験勉強、現在の弁護士としての活動の様子等をわかりやすくお話頂きました。



進路講演会（第16期卒 高中学 弁護士）

平成27年度大学入試総括

今春の入試は、数学と理科が新教育課程に対応した初年度の入試でした（国語、地歴公民、英語は旧教育課程の内容からの出題）。この新旧両課程の入試の切り替え時に当たる今年は、本校では前年度の浪人生が、例年と比べ激減しました。

四年制大学の合格数を見ますと、国公立大学114名で昨年度比プラス15名となりました。東大（1名）、一橋（1名）、お茶の水（3名）で合格者が出たのをはじめ、特に筑波大（18名）、茨大（40名）の増加が顕著でした。医学部医学科は国立4名を含む計10名となり、4年連続で10名以上となりました。

私立大学は、総合合格数が昨年度比約10%減の827名になりました。主な原因は、今年は本校卒業の浪人生が大幅に少なく、浪人生の合格数が減少したことです。また、浪人生減により、GTMARCHの合格数も伸び悩み、合計は117名で、昨年度比約40名の減少となりました。

学部の志望傾向としては、今年も就職状況の良さから、理系人気が続いているようです。医師・看護師不足の現状を受けて、医療系学部の新設が目立ちました。また、東京オリンピック効果もあり、建築や土木を中心とした工学系も人気です。さらに農学部は、バイオや環境、食の安全等幅広く学ぶ分野があることも大きな魅力となり、注目度が上がってきており、就職も順調のようで脚光を浴び始めています。

一方、文系学部は、理系に比べ就職に弱いとされてきましたが、景気回復傾向に伴い、就職しやすい環境になってきたこともあり、昨年度に比べ志願者も増加傾向にあるようです。特に根強い公務員人気から、法・政治系の学部に復活の兆しが見られます。

今春卒業生の現役進学率は、89.6%で昨年度をわずかに上回ることができました。過去3年間を見ましても、ほぼ9割の四年制大学の進学率を維持しております。残り1割の浪人生に対しても、滑り止めの大学を必ず受験して1校は合格を手にしており、すべて不合格で浪人する生徒は殆どいないのが現状です。



四年制大学合格者掲示（高校校舎中央玄関前）

常総学院高等学校 四年制大学別合格数

2015年5月1日現在

■国公立大学

Table listing national/public universities and their admission numbers from 2011 to 2015. Includes entries like 小樽商科大学, 帯広畜産大学, etc.

■大学校

Table listing university colleges and their admission numbers from 2011 to 2015. Includes entries like 防衛医科大学校, 気象大学校, etc.

■医学部医学科

【国立】

Table listing national medical departments and their admission numbers from 2011 to 2015. Includes entries like 弘前大学, 筑波大学, etc.

【私立】

Table listing private medical departments and their admission numbers from 2011 to 2015. Includes entries like 岩手医科大学, 獨協医科大学, etc.

■私立大学

Table listing private universities and their admission numbers from 2011 to 2015. Includes entries like 早稲田大学, 慶應義塾大学, etc.

Table listing private universities (continued) and their admission numbers from 2011 to 2015. Includes entries like 学習院女子大学, 神奈川大学, etc.

サ

Table listing private universities (S) and their admission numbers from 2011 to 2015. Includes entries like 埼玉医科, 産業能率, etc.

タ

Table listing private universities (Ta) and their admission numbers from 2011 to 2015. Includes entries like 大正大学, 大東文化, etc.

ナ

Table listing private universities (Na) and their admission numbers from 2011 to 2015. Includes entries like 日本大学, 日本医療科学, etc.

マ

Table listing private universities (Ma) and their admission numbers from 2011 to 2015. Includes entries like 武蔵大学, 武蔵野大学, etc.

ラ

Table listing private universities (Ra) and their admission numbers from 2011 to 2015. Includes entries like 立正大学, 立命館大学, etc.

ワ

Table listing private universities (Wa) and their admission numbers from 2011 to 2015. Includes entries like 和洋女子大学.

(医学部医学科合計)

Summary table for medical departments, including counts for national/public and private institutions.

Summary table for ICU and GTMARCH counts.

(四年制大学合計)

Summary table for four-year university totals, including national/public, university colleges, private, and total counts.

※合格した大学のうち一部の掲載です。



Advertisement for '桜咲く常総' (Sakura Saku Toho) magazine, No. 2015, featuring a cover image and text about the 2015 edition.

常総学院中学校 創立20周年特集

20th Anniversary 2015



在校生だより

《中学校》

JRC委員 & 合唱サークルが毎年恒例の校外活動を行いました。

生徒の感想文より抜粋

私は合唱サークルとして、初めて老人ホームを訪ねました。ホームの中には、耳の聞こえない人、手足が不自由な人、体が半分しか動かない人など多くの方がおりました。私はその人たちが私達と話している姿を見て、「生きる力」をととても強く感じました。

今度は手話を覚えて来年も参加したいと思います。

1年3組 JRC委員



家族と話すのとも、友だちと話すのとも違う、新鮮な体験でした



おばあちゃんはどんな話をしてくれてるのかな



楽しそうに折り紙してますね



あや取りを教えてもらってるのかな



「ふるさと」の歌声が響いています



ホームの皆さんの健康を願って、手話で「島唄」を歌いました

文部科学大臣奨励賞 を受賞して

3年2組 富田 真帆

今回、文部科学大臣奨励賞という素晴らしい賞を受賞できた事、とても嬉しく思っています。

何回出場しても、張りつめた会場の空気感には慣れることができません。落着こうと思えば思うほど緊張してしまいましたが、何とか自分の力を出しきる事ができました。

今回の賞は私一人の力だけではなく、教室までの送り迎えをしてくれた家族のおかげだと思っています。本当にありがとうございます。これからも、感謝の気持ちを忘れず、書き続けたいと思っています。



陶芸展について

3年1組 服部 夏実

私は先日、サークル活動の一環として、こども陶芸展 in かさまに出品した作品で特別賞をいただきました。美術サークルに今所属している同級生は賞をすでに受賞していて、受賞していないのは私だけだったので、とてもうれしかったです。作品は、海の生物をモチーフにしたもので、水の中にいるような躍動感を表現できるように頑張りました。実際、そこを評価してもらえたようです。またこのような賞をもらえるように努力していきたいです。



県選抜に選ばれて

3年2組 ギバ 賢 キダビング

僕は二年生の最後に、バスケットボール男子茨城県代表として、東京で開かれた全日本中学オールスターに参加しました。

全国各県からすごい人達が集まり試合をしました。茨城は予選リーグで一勝一敗と決勝リーグには進めませんでした。ここまでは、大変良い経験をしました。ここまできたのは、日々指導してくださった先生方、毎日一緒に練習をともにし戦ってくれた仲間達、そしていつも応援してくれた家族に感謝しています。

これからも感謝の気持ちを忘れずに日々練習に励みたいです。



各学年行事 し。ポート

— 中学一年生 —

ブリテッシュヒルズ に行つて

1年1組 大久保 凜

私達一学年は、九月の四・五日にブリテッシュヒルズへ学宿に行きました。私が一番に感じたことは、文化やマナーが全く違うということです。テーブルマナーなど日本との違いを感じました。しかし、マナーを守って食べる料理はとてもおいしかったです。ブリテッシュの先生方や他のクラスの人と交流できたりして、自分の力になる学宿でした。

国内留学を終えて

1年3組 大野 健登

僕が、この国内留学で印象に残ったことは二つあります。一つ目はイギリスの生活についてです。テーブルマナー、スコーン作りなど興味深いものばかりでした。二つ目は、英語の重要性です。今回、外国の方々と会話をして、自分の英語が、通用しないと痛感しました。将来外国でも通用するような英語を身につけていきたいと強く思いました。

— 中学二年生 —

京都・奈良国内研修 旅行を通して

2年1組 松島 優花

私達中学二年生は、八月に二泊三日で京都・奈良を訪れました。そこで私は、京都の歴史や文化を学ぶことが出来ました。見学先の中で最も印象に残っている龍安寺の枯山水は、砂礫だけで水の流れを表現しています。また、枯山水には遠近法で庭を広く見せたり、どの位置から



も全ての石を見る事が出来ない工夫がされていて、驚きました。今回の研修旅行を通して、日々の学習では知ることが出来ない、京都の文化の奥深さを肌で感じる事が出来、良かったです。と思います。

充実した研修旅行

2年2組 和久井 侑希

京都・奈良で得たものは一生のものだと思います。初日は法隆寺等に行きました。実際に見た初めての五重塔はとてもインパクトのあるものでした。そしてまことにまった二日目。金閣と銀閣。金閣にはとても気品があり、外国人が多かったです。そして銀閣は静かで心の落ちつける場所でした。伝統芸能である能は分かりやすい説明で、興味もてました。三日間の神社見学は、ガイドさんの説明のおかげで解り易く物語として入ってきたと思います。とても実りのある研修旅行となりました。



— 中学二年生 —

ニューギニア

3年1組 太田 真彩

私はこの海外研修で初めて海外へ行きました。最初はどうか不安でしたが、楽しい思い出をたくさん作ることができました。その中でも一番楽しかったのはファームステイです。子供たちと一緒にトランポリンで遊んだり、すごい数の星を見ることが出来ました。ホストファミリーの英語が意外と理解できたので驚きました。海外研修に行かせてくれた両親に感謝し、この経験をこれからもいかしていきたいです。



■平成26年度 常総学院高等学校同窓会決算書
(平成26年4月1日～平成27年3月31日まで)

▼収入の部 (単位:円)				
科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
1.会 費	8,660,000	9,981,000	1,321,000	
卒業生会費	450,000	891,000	441,000	終身会費25名、会員52名
在校生会費	8,210,000	9,090,000	880,000	終身会費156名、会員519名
2.雑 収入	12,000	10,931	△1,069	受取利息
3.前年度繰越金	58,836,607	58,836,607	0	
収入の部計	67,508,607	68,828,538	1,319,931	

▼支出の部 (単位:円)				
科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
1.消耗品費	100,000	35,558	△64,442	事務用品等
2.通信運搬費	900,000	767,120	△132,880	会報送料
3.印刷製本費	1,850,000	1,525,046	△324,954	会報印刷代等
4.会議費	200,000	159,672	△40,328	役員会時飲み物代等
5.旅費交通費	300,000	96,000	△204,000	役員会時旅費
6.部活動補助費	3,000,000	3,240,000	240,000	男女バドミントン部 硬式野球部等
7.記念品費	690,000	636,000	△54,000	コサージュ、生徒手帳
8.広報費	110,000	0	△110,000	新聞広告料
9.行事費	350,000	382,779	32,779	常友祭テント代等
10.雑費	200,000	104,200	△95,800	振込手数料等
11.次年度繰越金	59,808,607	61,882,163	2,073,556	
支出の部計	67,508,607	68,828,538	1,319,931	

上記の決算書について諸帳簿関係証書を監査した結果、適正かつ正確であることを証明致します。
平成27年4月22日 会計監査 久保田 美幸 前川 信史

平成26年度決算について

1. 収入の部
当初の予算額より卒業生終身会費の納人が増えた為、会費収入が増となりました。
2. 支出の部
女子バレーボール部・ソフトボール部・男子バドミントン部・女子バドミントン部・ラグビー部・女子剣道部・駅伝部・チアリーダー部・パワーリフティング部・硬式野球部及び第87回選抜高等学校野球大会出場補助・吹奏楽部定期演奏会補助・卒業生・新入生への記念品等の事業活動を行いました。その他、支出は極力経費の節減に努めました。

■平成27年度 常総学院高等学校同窓会予算書(案)
(平成27年4月1日～平成28年3月31日まで)

▼収入の部 (単位:円)				
科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1.会 費	9,960,000	8,660,000	1,300,000	
卒業生会費	780,000	450,000	330,000	終身会費20名、会員60名
在校生会費	9,180,000	8,210,000	970,000	終身会費160名、会員518名
2.雑 収入	12,000	12,000	0	受取利息
3.前年度繰越金	61,882,163	58,836,607	3,045,556	
収入の部計	71,854,163	67,508,607	4,345,556	

▼支出の部 (単位:円)				
科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1.消耗品費	100,000	100,000	0	事務用品等
2.通信運搬費	800,000	900,000	△100,000	会報送料
3.印刷製本費	1,700,000	1,850,000	△150,000	会報印刷代等
4.会議費	200,000	200,000	0	役員会時飲み物代等
5.旅費交通費	300,000	300,000	0	役員会時旅費
6.部活動補助費	3,500,000	3,000,000	500,000	硬式野球部 男女バドミントン部等
7.記念品費	750,000	690,000	60,000	コサージュ、生徒手帳
8.広報費	110,000	110,000	0	新聞広告料
9.行事費	400,000	350,000	50,000	常友祭テント代等
10.雑費	200,000	200,000	0	振込手数料等
11.次年度繰越金	63,794,163	58,808,607	3,985,556	
支出の部計	71,854,163	67,508,607	4,345,556	

平成27年度予算について

平成27年度予算は、平成27年度の事業計画と平成26年度の収支実績を勘案して編成いたしました。

1. 収入の部
卒業生の入会金、会費518名、会員年会費80名を収納予定として計上いたしました。
2. 支出の部
本年度の事業計画は、①第15号同窓会会報の発行②会員への同窓会会報郵送③各部活動への補助④卒業生・新入生への記念品が主なものである。これに基づき予算を編成いたしました。

平成27年度常総学院高等学校同窓会 会務分担表

担当	本部 役員	学 校	主な 業務	担当	本部 役員	学 校	主な 業務
総 務	副会長 泉 琢磨 副会長 坂田 英一	岡田 慎一郎 林 克俊 切替 隆喜 中原 僚汰 山田 拓也 中根 弘貴	飯塚 康弘 仲野谷 宗治 櫻井 亮史	会議の招集・運営・進行 同窓会の統括的業務	事務局長 伊沢 勝徳	青柳 隆雄 片山 章 布施谷 正人	事務局と相互連携
経 理	副会長 伊藤 哲也	内田 悠佑 塚本 勝則 櫻井 勝猪 高美 雅義 平澤 雅義	磯部 和弘 大海 聖賀	予算の編成と執行・決算 諸会費等の徴収	副会長 長谷部 勝弘		
会 報	副会長 山口 大次	渡辺 裕次 伊藤 俊太郎 川井 由美子 津村 大也 米倉 真也 山本 真也 岩井 大輝 渡辺 真弓 渡辺 真香 高野 直太郎 金子 拓太郎 堀切 風花 片岡 唯 横川 みなみ 道 祥宏	田中 光恵 牧野 絵美 谷川 義宜 祐源 愛徳 松林 康徳 横瀬 まり 神矢 千亜紀 相澤 理沙 篠塚 悠里 芽場 千晶 山口 竜大 西牧 奈緒	会報の編集・発行	監 事 久保田 美幸	前川 信史	本会会計の監査

同窓会事務局より

常総学院高等学校同窓会総会開催のお知らせ

日時 平成28年5月31日(日)午前10時から
場所 常総学院高等学校 視聴覚教室
会員皆様の多数の御出席をお待ちしております。
懇話会電話勧誘にご注意
同窓会事務局あるいは常総学院事務局と名乗って、電話などで強引に勧誘する事件が発生しています。不審な勧誘、催し調査等を受けた場合には、即答せず同窓会事務局までお問い合わせ下さい。同窓会事務局が調査を行う場合は、同窓会長名・学校長名の記載がある郵便物又はメール便で行います。
会報への寄稿をお願い致します。
会員皆様より会報への寄稿をお願いします。特に、同窓会、クラス会関係等、卒業生の活躍に関する情報をお寄せ下さい。詳細は同窓会事務局までお問い合わせ下さい。

JOSO Revolution

平成28年度よりネイティブによる英会話の授業を毎日実施
常総学院中学校の英語教育がさらに発展



常総学院中学校
〒300-0849 茨城県土浦市中村西根1010 TEL:029-842-0708(代表)

中高一貫教育
新しいE.L.S.ホームページにてご確認ください。
常総学院
https://www.joso.ac.jp/

常総学院高等学校



平成27年度 入学試験
定員495名
特進選抜αコース
特進β(β6・β7)コース

推薦(単願)
1月9日(土) 国数英(記述)・面接
一般(単願・併願)
1月19日(火) 国数英理社(記述)
併願型推薦(千葉県受験者)
1月19日(火) 国数英理社(記述)

◇お問い合わせ◇ TEL:029-842-8771(代)
(入試広報部) 〒300-0849 茨城県土浦市中村西根1010番地
URL https://www.joso.ac.jp/

常友祭 大盛況でおわりました!

毎年11月に行われる行事。「常友祭」。同窓会でも毎年申カツ・お汁粉の屋台をだしています。当日は雨でしたが、今年度も屋台を出しました!今年から、高校生徒会で販売している「常総オリジナルグッズ」の販売もお手伝い。帽子とタオルの販売も同時に行いました。このようなことを通して、少しでも在学生の力になりたいものです。若いパワーに触れ、若かりし、甘酸っぱいあの頃を思い出すまたとない機会です。来年度も是非おこしく下さい!

〈常友祭の様子〉
(高校) テーマ「志」ーやりたいことはやまほどあるー



天気なんて吹き飛ばせ!高校生食品販売



高校生各クラス企画



(中学校) テーマ「志」ー今だ!チャンスは一度きり!!ー



毎年大人気の高校吹奏楽部の演奏会



中学校常友祭実行委員・生徒会役員



入場門



巨大絵合わせ

編集後記

卒業すると母校の様子を知る機会は少なくなるもので、街中で制服を見かけたり、新聞記事に名前を見つかったりしたときに、懐かしさを覚えるのではないのでしょうか。

常総学院高等学校は今年度創立33年目、常総学院中学校は、節目となる創立20年目を迎えました。

私事ですが、現在校務として広報活動に携わっており、客観的な「常総」を感じる事が非常に増えました。その中でも驚きを感じたのが、関東はおるか、遠く東北や九州の方々などからのお問い合わせがあるという事です。全国的な活躍を見せてくれている生徒たち・OB・OGの方々に対し、改めて感謝の気持ちを抱くと共に、生徒たちの弛まぬ努力を多くの方々に理解して頂けるよう、これからも声を大にして本校をPRしていきたいと、改めて感じました。

さて、皆様のお力添えにより、今年も無事同窓会会報第十五号を発行することができました。在校生の活躍はもちろんのこと、社会で活躍する卒業生の皆様方の力をお借りして数多く紹介することで、同窓会会報が会員皆様の日々の活力になればと考えております。『卒業生からの便り』等にご協力をいただける方を、編集部ではいつでも大募集しております。より内容の充実した会報を目指していきたいと考えておりますので、お力を賜れる方は学校へご連絡ください。今後ともご理解ご協力のほどよろしくお願いたします。卒業生の皆様方のますますのご活躍をお祈りいたしております。

同窓会会報 櫻井 堯史
編集委員一同